

若い力が地域の力！

甲賀市議会議員

西村 けい

30 歳

後援会瓦版 5 号
(R7/4) [討議資料]



ごあいさつ

新年度が始まりました。令和 7 年度は、市の行政運営の最上位計画である「第 2 次甲賀市総合計画第 3 期基本計画(2025～2028)」の 1 年目であり、先日の 3 月定例会においては、新年度予算と共に今後 4 年間のまちづくりの方向性や施策を決定しました。その中でも重点目標としては、～「オール甲賀」で目指す「若者・子育て世代に選ばれるまち」～と定め、まちの活気に直結する「若者・子育て世代の定住促進と市外からの転入促進」に取り組みます。一方で、物価高騰や高齢化の進行による医療・介護需要の増加、さらには中山間地の担い手不足など、時代が進むと共に複合化された課題は山積しています。その中で、これからも、このまちで暮らしていく私たち「若い世代」が当事者として、新しい甲賀のまちのかたちを創っていく責任があります。議員任期の最終年度を迎えましたが、この時期に今一度、自分の初志と市政の現況を振り返り、新たなビジョンを定めます。そして、今日までふるさとを守り、創ってこられた諸先輩方、そしてこれらふるさとで育っていくこどもたち、すべての世代が安心して暮らせる持続可能な環境を築いていきます。今後も、西村けいの活動にご指導とご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

プロフィール

【経歴】妻と長男(0 歳 11 ヶ月)を子育て中

平成 7 年 3 月 10 日生まれ / 平成 13 年 のぞみ保育園卒 / 平成 19 年 甲南第一小卒
平成 22 年 甲南中学卒 / 平成 25 年 立命館守山高卒 / 平成 29 年 立命館大法卒
平成 29 年 日本通運(株)入社 / 令和 2 年 8 月 日本通運(株)退職

【主な活動】

甲賀市消防団(甲南 5-1) 団員 / 甲賀忍術研究会 会員 / (公社)水口青年会議所 理事
学校法人立命館 評議員 / 立命館守山早苗会(同窓会) 会長 / 関西若手議員の会 副会長
滋賀県防衛協会青年部 幹事 / 甲賀市倫理法人会 副専任幹事

令和 7 年度予算【抜粋】

過去に「一般質問」で提案を行い、関連して新規に実施される事業を記載。

①【通学定期券購入補助】

子育て世代の負担(金銭面、送迎負担)軽減により定期利用の促進を図るため、特に JR 草津線の利用が低迷している甲南～油日を利用する高校生を対象に最大 15,000 円/年を補助する。

【令和 5 年 6 月定例会一般質問】

西村：経済的負担の軽減、利用促進として購入補助制度の創設を。

市長：学びの環境の支援は行政の役割でもあり、利用促進とともに検討する。



②【(仮)ワカモノ会議の設置】

「若者・子育て世代に選ばれるまち」を実現するためには、若者等のニーズに応じた有効な施策を講じる必要があり、シンクタンクとして設置する。

【令和 3 年 12 月定例会一般質問】

西村：若い世代の声を活かす若者のまちづくり参画の仕組み構築を。

市長：新しい発想やエネルギーな活動は、定住増加に繋がると確信している。



皆さんのお声を聞かせてください！



↑上記の「2 次元コード」からアンケートへアクセスいただき、市政に対する皆様のご意見やご要望をお聞かせください。

【市政報告・意見交換会のご案内】

「日時」令和 7 年 4 月 26 日(土)

14:00～16:00

「場所」寺庄公民館(甲南町寺庄 993-7)

※参加費無料/事前申込不要

是非、会場に足を
お運びください！！

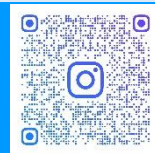


西村けい 後援会事務所

連絡先

〒520-3301 甲賀市甲南町寺庄 1207

TEL:090-5150-8140



2020～2025 5年間の主な活動・成果

初挑戦時の5分野 12施策のお約束！



5つのビジョン

①危機管理の強化

- ・集中豪雨をはじめとする自然災害時、若い世代を軸とした地域防災力を確立。
- ・大規模災害や感染症拡大による医療崩壊防止のために二次的受け入れ施設の設置を制度化。

②子育て・教育の強化

- ・中学生以下医療費を無料として、子育てしやすい環境を整備。
- ・奨学金の返済など経済的不安を抱かず、夢の実現に挑戦できる学習・経済支援制度を設置。
- ・ICT教育環境の整備により、子どもたちが快適に学べる環境を創出。

③観光産業の振興

- ・インバウンドをターゲットとした観光戦略のために、外国語広報や観光地通訳の整備。
- ・甲賀の特産品を加工し、ブランド化して、『甲賀で食べる！』観光産業を創出。

④地域経済の活性化

- ・中京、阪神を経由地とする輸送品の物流機能を集約し、企業誘致や産業振興を推進。
- ・観光や社会福祉などの分野で起業する若者へのスタートアップ支援を拡充。
- ・市独自の産業特区を創設して、地域の特徴を生かした経済活動を促進。

⑤交通インフラの充実

- ・BRT(バス・ラピッド・トランジット)の運行を行い、JR草津線・近江鉄道・信楽高原鉄道を中心とした通勤・通学の利便性向上や高齢化社会における生活インフラの確保。
- ・乗り換え案内アプリとの更なる連携により、市内の運行・接続の見える化を推進。

No,	施策の概要	結果
1	自然災害時、若い世代を軸とした地域防災力の確立。	△
2	大規模災害(感染症拡大)時の医療体制・受入施設の制度化。	○
3	中学生以下の医療費を無償化し、子育てしやすい環境の整備。	○
4	夢の実現に向かい挑戦できる奨学金返済などの制度の設置。	○
5	ICT 教育環境の整備による快適に学べる環境の創出。	○
6	インバウンドをターゲットにした外国語広報や観光地通訳の整備。	△
7	甲賀の特産品を加工し、「甲賀で食べる！」ブランド化を確立。	○
8	輸送品の物流機能を集約し、企業誘致・産業振興を推進。	△
9	観光や社会福祉の分野で挑戦するスタートアップ支援を拡充。	△
10	市独自の産業特区を創出し、地域特性を活かした取組を推進。	△
11	BRT(バス・ラピッド・トランジット)の運行で、交通の利便性を確保。	×
12	乗り換え案内アプリの拡充により、運行・接続の見えるかを推進。	○

※右端の結果は、市政の現況を確認し、独自に評価しています。

所属会派：凜風会

市議会等役職・所属

第19代副議長(現職)

議会運営委員 / 厚生文教常任委員

予算決算常任委員 / 広報広聴委員会委員長

公立甲賀病院組合議会議員 / 都市計画審議員



任期中に感じたこれからの「まちの姿」

次代を担う当事者として現在、そして未来に責任をもったまちづくり

1 安心のまち

- ・消防団拡充等による地域防災力強化と災害時受援計画の実効性の確保。
- ・市内小学校・中学校通学路の安全対策に係る効果的な措置の実施。
- ・医療人材の確保とともに介護人材の確保の為に処遇向上を図る。



2 誇れるまち

- ・市外からの注目と市民の愛着形成の為に戦略的なシティプロモーションを実施。
- ・活気向上と『外貨』獲得を目的としたインバウンドの受け入れ環境の整備。
- ・地域ブランドの向上や税収増を見込んだ新たな企業誘致の推進。



3 便利なまち

- ・立地適正化計画に基づくコンパクトシティに向けた居住誘導の段階的な実施。
- ・地理的優位性を活かした物流拠点と名神名阪連絡道や幹線道路の整備促進。
- ・JR 草津線の利用促進や他の公共交通との連携による利便性維持の確保。



4 持続可能なまち

- ・担い手確保と農地保全による地域レベルでの最低限の食料安全保障を実施。
- ・市独自の特区を創出し、地域特性を活かした各種産業の発展を支援。
- ・計画的な公共施設の管理と地域の理解を得た幼保・小中学校再編の推進。



5 協働のまち

- ・孤独・孤立に対応する地域支援と住民自治の仕組みづくりを確立。
- ・地域の活性化や課題解決を図るチャレンジを応援するスタートアップ支援の拡充。
- ・市政の好循環を目的とした代表機関である議会の広報・広聴機能の充実。

